大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会　Ligare 大丸有エリアマネジメント協会 OMY Area Management Association　ECOZZERIA

2025 年 12 月 18 日

報道関係各位

丸の内ハニープロジェクト実行委員会
（事務局： 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会）

ご取材のご案内

～都心ビル屋上の養蜂活動から、環境都市を目指すまちづくり～

丸の内ハニープロジェクト 10 年記念イベント

花粉 DNA 分析・“8 の字ダンス”解析を読み解き、 “自然と共生するまちづくり”へ

日時：2026 年 1 月 20 日（火）17:00～18:30（受付開始 16:30）
場所：3×3Lab Future サロン（千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOS ビル 1F）

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体（*1）の内の、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（以下 エコッツェリア協会）が事務局を務める「丸の内ハニープロジェクト実行委員会」は、2016 年 7 月の設立以来、大丸有（大手町・丸の内・有楽町）エリアのビル屋上にて養蜂活動を実施してきました。

この度、本プロジェクトが活動 10 年目となることを受け、これまでのあゆみを振り返るとともに、次の 10 年に向けた展望を共有する場として、**2026 年 1 月 20 日（火）17:00～18:30 にて記念イベントを開催**いたします。イベントでは、本取り組みを通じて目指す “自然と共生するまちづくり” を推進するため、はちみつに含まれる花粉 DNA 分析やミツバチが仲間に花の在りかを伝える「8 の字」ダンスの AI 解析などの各研究成果も発表します。

つきましては、報道関係の皆様に、記念イベントをご取材いただく機会を設けさせていただければと存じます。ご取材いただける場合は **1 月 15 日（木）12:00 まで**にこちらの**フォーム**から、もしくは以下 <ご取材のお申込みについて> に記載の必要事項をご記入の上、メール（tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp）にてお申し込みいただきますようお願いいたします。

（*1）「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコッツェリア協会）」の 3 団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

10 年記念イベント 実施概要

日時：2026 年 1 月 20 日（火）17:00～18:30（受付開始 16:30）
※本イベントは第 1 部（講演会：17:00～18:30）、第 2 部（懇親会：18:40～20:00）の 2 部制となります。懇親会へのご参加も希望の方は、取材申込時、フォームまたは備考欄に懇親会参加の旨お知らせのほどお願い申し上げます。
場所：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・ENEOS ビル 1F）
https://www.ecozzeria.jp/about/accessmap.html

■プログラム内容

＜第 1 部：講演会＞（17:00～18:30）

●丸の内ハニープロジェクトの 10 年振り返り
登壇：松井 宏宇（丸の内ハニープロジェクト事務局（エコッツェリア協会））

●講演「丸の内ハニープロジェクト これからの 10 年に向けて」（テーマ及び内容は予定）
ーテーマ：都市と自然がつながる“丸の内ハニープロジェクト”の未来を探るー

(1)「花粉 DNA 分析から見る『丸の内はちみつ』」

登壇者：伊藤 俊介 氏（バイオンインサイト株式会社 代表取締役社長）

はちみつに含まれる花粉中の DNA を分析し、ミツバチが都市の自然でどのような花を訪れているのか、丸の内ならではの特徴を科学的に解き明かします。

(2)「ミツバチはどこから？ 8 の字ダンスを AI で解析」

登壇者：GRISON Sylvain 氏（東京大学博士課程 Laboratory of Field Phenomics）

ミツバチが仲間に花の在りかを伝える「8 の字」ダンス。このダンスを AI で解析することで、ミツバチがどの時期にどこの緑地を訪れているのか可視化します。

(3)「屋上から広がる丸の内のみどり」

登壇者：大原 庄史 氏（特定非営利活動法人 生態教育センター）

ミツバチや花の観察をもとに、はちみつを集めるだけではないこれからの都市養蜂、これからの"緑と人と都市の共生"のあり方について考えます。

＜第２部：懇親会＞（18:40～20:00）

同会場にて、丸の内のはちみつを使用した軽食やドリンクを供する懇親会を実施いたします。

お時間がございましたら是非ご参加ください（取材申込時、フォームまたは備考欄に懇親会参加の旨お知らせのほどお願い申し上げます）。

＜ご取材のお申込みについて＞

ご取材いただけます場合には、下記のいずれかにてお申し込みをお願いいたします（1 月 15 日(木)正午まで）。

① **お申し込みフォーム**：
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdi7oWmDniMuZvdOohz36it9Ihd8v0ZPF_9T7wbowSZYVzxpQ/viewform?usp=publish-editor

② 下記必要事項をご記載の上、PR 事務局へメール（tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp）でご連絡ください。

【必要事項】
貴社名：
貴媒体名：
お名前：
ご連絡先：TEL.　　　　　　　　　　Mail.
参加人数：
撮影：【スチール（ 台）・ムービー（ 台）】
備考：（18:40～の第 2 部懇親会ご参加の場合は、ご記入ください）

丸の内ハニープロジェクトについて

「丸の内ハニープロジェクト」は、大手町・丸の内・有楽町（大丸有）エリアで行われている都市養蜂の取り組みです。

2016 年 7 月には「丸の内ハニープロジェクト実行委員会」を設立。都市養蜂を通じたコミュニティを築くとともに、エリアの豊富な自然と共生する環境都市、健康都市を目指したまちづくりの取り組みとしてスタートしました。

大丸有エリアの屋上でミツバチを育てながら様々な企業の就業者の方々と一緒に採蜜活動を行い、採蜜したはちみつはエリアの飲食店・ホテル等で活用されています。さらに、はちみつを採るだけでなく、養蜂を通じた環境教育や蜜源調査からまちの植栽に活かすなど生き物にとっても優しいまちづくりを目指した試みなども進めています。

丸の内ハニープロジェクトで採蜜したはちみつを私たちは「丸の内のはちみつ」や「丸の内ハニー」と呼んでいます。

ビジネス街のイメージが強い大丸有エリアですが、ミツバチの行動範囲である半径 2～4km の中には豊富な街路樹や緑地の他、周辺には皇居や日比谷公園も位置しており、多くの蜜源があることから上質なはちみつづくりを行うことができます。

丸の内ハニープロジェクトの詳細はこちら：
https://ecozzeria.jp/topics-omy/daimaruyu/MarunouchiHoney.html

【丸の内ハニープロジェクト実行委員会】

実行委員長： 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 都市機能部会

委員： 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 都市運営・プロモーション部会
特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト
NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）
一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会
一般社団法人 日本工業倶楽部
三菱地所株式会社
三菱地所プロパティマネジメント株式会社
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコッツェリア協会） ＜事務局＞

エリアの飲食店・ホテル等とのコラボレーション

採蜜したはちみつは、エリア内の飲食店やホテルでの食材への活用、マルシェでの販売、そしてはちみつ専門店や手土産品店とのコラボレーションによる商品化が進んでいます。

丸の内はちみつを利用した商品は、（12 月 1 日時点）以下の店舗でご購入いただくことができます。

自然共生に向けた取り組み

ミツバチは、蜜や花粉を集めるだけでなく、植物の受粉を助ける重要な役割を担っています。世界の花を咲かせる植物の約90%、食用作物の75%以上が、ミツバチをやチョウなどの「ポリネーター」による受粉に支えられており、食糧安全保障や生物多様性の保全に欠かせない存在です。

丸の内ハニープロジェクトでは、はちみつを採るだけでなく、ミツバチを「調査員」に見立て、ミツバチのためだけではなく、ポリネーターにとってどの緑地や植物が蜜源として利用されているのかを調べています。はちみつに含まれる花粉のDNAを分析すると、ミツバチが利用する植物の種類は1週間ごとに大きく変化していることが分かりました。さらに、採蜜量と照らし合わせることで、蜜源が少ない時期にポリネーターの貴重な食糧となる植物も特定されています。

また、ミツバチが蜜源の方向と距離を仲間に伝える「8の字ダンス」をAIで解析し、どの緑地を訪れているかを把握する取り組みも進めています。こうした調査結果をもとに、蜜源が不足しがちな時期にも花を咲かせる植物や、ポリネーターが利用しやすい植物を選び、エリアの植栽に反映しています。

※ポリネーター：ミツバチやチョウ、甲虫、鳥類などの花粉を運ぶ生物のこと。植物の受粉に重要な役割を果たす。

▲DNA分析用に採取したはちみつのサンプル
採取日ごとに色が異なる

▲ポリネーターに配慮した植物を搭載した
ハンギングバスケット

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・農政クラブ・農林記者会・環境問題研究会・環境記者会へお届けしています。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>
大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりPR事務局　共同ピーアール㈱　PRアカウント本部　5局2部　担当：内山
TEL：070-4303-7327　FAX：03-6260-6653　E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp